

芸西村下水道事業経営戦略【概要版】

1. 事業概要

事業名：芸西村下水道事業 経営戦略計画期間：令和7年度～令和16年度(10年間)
供用開始年度：平成13年度
処理区域内人口密度：27.3人／ha（処理区域内人口 3,277人、処理区域面積120ha 令和5年度実績）
処理区数：1 処理区
処理場数：1 処理場

2. 経営状況

- 令和6年度から地方公営企業法を適用し運営・管理しています。
- 令和6年度決算見込みにおける主な経営指標は次のとおりです。
- 経常収支比率：105%（令和6年度決算見込み）
- 経費回収率：108%（令和6年度決算見込み）
- 水洗化率：77.8%（令和6年度決算見込み）
- 企業債残高：815百万円（令和6年度決算見込み）

3. 将来の事業環境

（1）処理区域内人口等

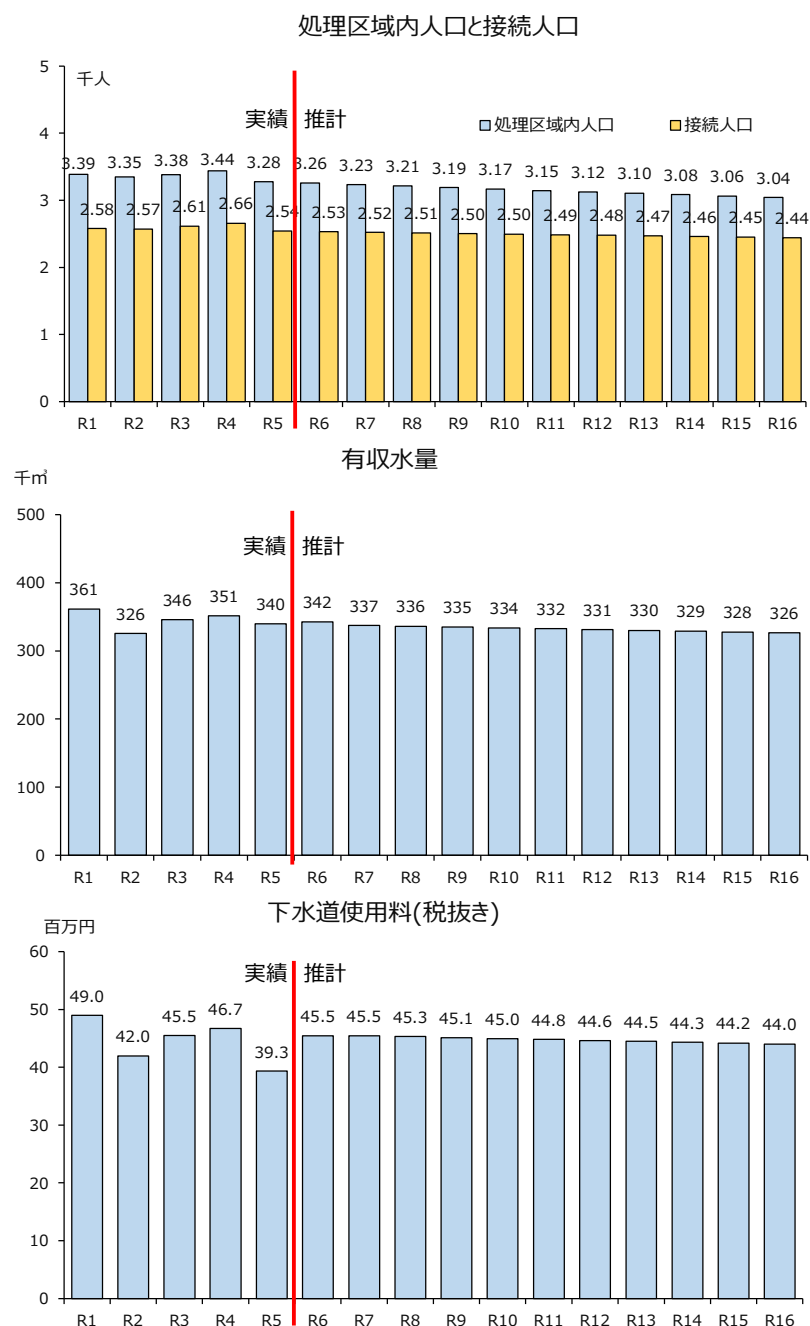
- 計画期間末の令和16年度には、少子高齢化等の影響により、令和5年度実績から処理区域内人口は93%程度に減少し、同様に接続人口も減少する見込みです。
- 処理区域内人口＝前年度処理区域内人口×減少率(令和3年度～5年度の平均)

（2）有収水量

- 計画期間末の令和16年度には、接続人口の減少に伴い、令和5年度実績の96%程度に減少する見込みです。
- 有収水量＝接続人口×1人当たりの有収水量(令和5年度実績)

（3）料金収入

- 計画期間末の令和16年度には、有収水量の減少に伴い、減少する見込みです。
- なお、令和5年度は決算処理の関係で統計上10か月分の収入となっています。
- 使用料＝有収水量×有収水量1㎡当たり使用料(令和7年度予算)

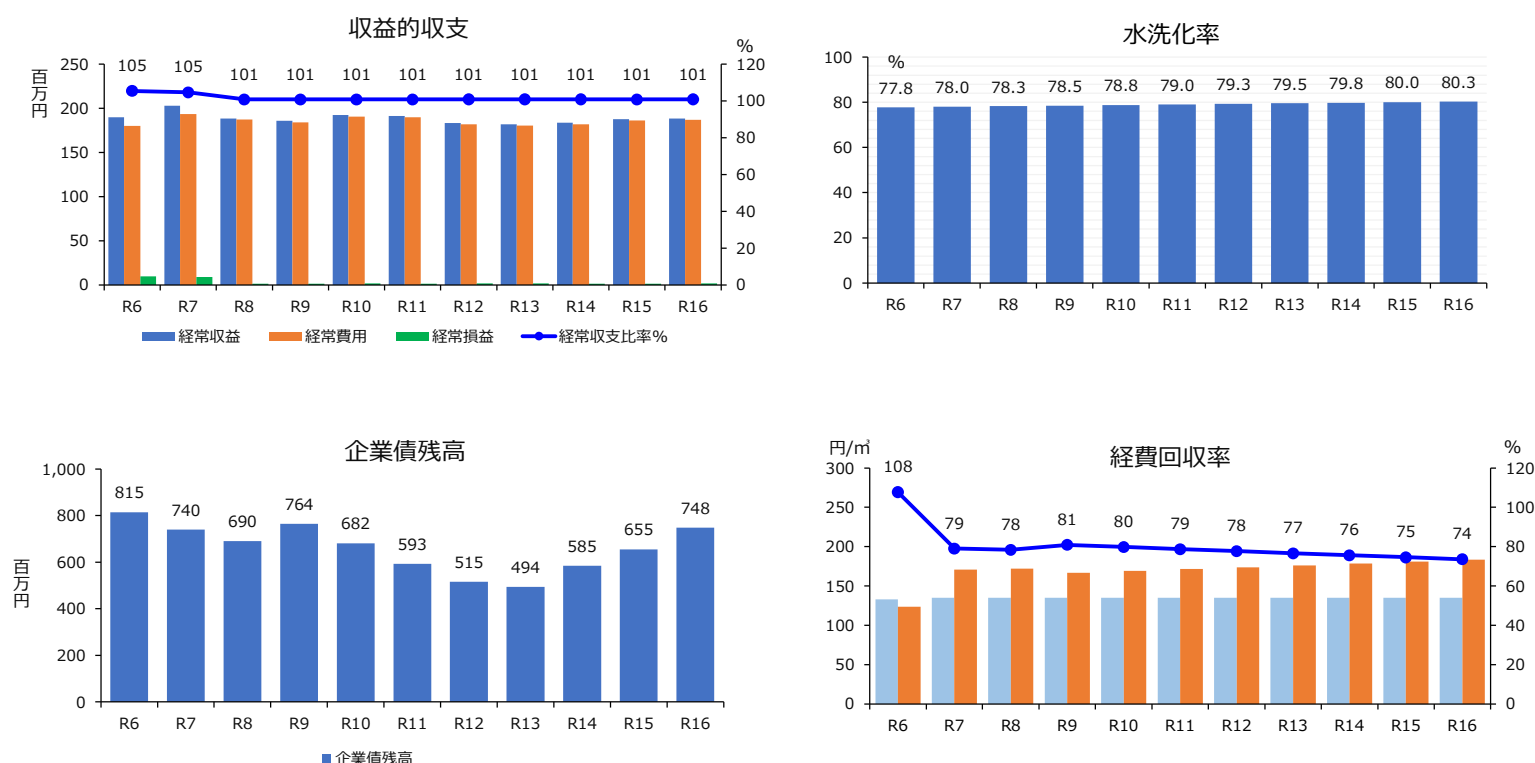


4. 経営の基本方針

- 生活排水等の汚水を適切に排除・処理する下水道施設は、公共用水域の水質保全とともに、衛生面での生活環境の改善に大きな役割を果たしており、現代では必要不可欠な社会資本(インフラ)となっています。
- しかしながら、人口減少に伴う料金収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新費用の増大により、事業の経営環境は今後さらに厳しくなっていくことが予想されます。
- このような状況のなか、「この重要な社会資本を持続的に健全に運営していくこと」を経営の基本方針とし、適切な投資計画と財政計画を策定し事業の健全運営に努めます。

5. 投資財政計画

- ＜投資に関する目標＞ 計画期間 令和16年度末における目標
- 水洗化率：80%以上を目指します。(R5年度77.5%)
- ＜投資の目標に関する考え方＞
- 処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標であり、水洗化率100%を維持します。
- ＜財源に関する目標＞
- 経常収支比率：100%以上を目指します。
- ＜財源の目標に関する考え方＞
- 経常収支比率は、当該年度の経常収益で維持管理費等の経常費用をどの程度賄えているかを示す指標であり、健全経営を続けていくために単年度収支の黒字化を目指します。



6. 今後の検討予定等

- 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、PDCAサイクルの考えに基づき、投資・財政計画の達成状況について毎年度進捗管理を実施し、計画と実績の乖離を検証・対応していきます。
- また、使用料金の変更や民間活力の活用等により、収支計画の変更が必要となる場合においては、本戦略を見直すほか、概ね5年ごとに総合的な検証を行ない、さらなる現状分析や社会状況の変化などを考慮し、本戦略を更新します。